

患者さまに応じた適切な栄養管理で
治療効果が上がるようサポートします。

2005年に馬場記念病院で発足したく栄養サポートチーム (NST) >。目的は、患者さまの適切な栄養管理です。そのため病棟に出向き、栄養状態の指標となる検査値や褥瘡の有無、食事状況などを毎日確認しています。NSTのリーダーを勤めるのは、松井理恵管理栄養士 (NST専門療法士) です。

「NSTが発足した当時、チーム医療や、主治医への栄

養面からの提案は、まだ新しい試みであり、活動には試行錯誤がありました。でも今では医師、栄養士、管理栄養士など、さまざまな職種がしっかりと連携を取り、学会発表 (日本静脈経腸栄養学会) などにも積極的に挑戦しています。これからも適切な栄養管理をもとに、患者さまの早期回復、手術後の感染症や合併症の防止などに貢献したいと考えます」 (松井)。

現在では、ペガサスグループ全体に活動範囲を広げるNST。その歩みはこれからも続きます。



松井 理恵 管理栄養士

フレンドリーな新講師アディのレッスンへ。



英会話教室に、新講師アディ・アウグスティンを迎えました。ガーナで教師として勤務し、2014年に来日。名古屋大学、愛知大学で勉強したのち、岡山県の小・中学校で英語教師をしていました。フレンドリーで、楽しいレッスンが評判です。ぜひご参加ください。

介護や認知症のことを、お話ししましょう。

アリオンでは、毎月第一木曜日に、オレンジ・カフェを開催しています。お茶を飲みながら、介護のことや認知症のことをお話しませんか？ 認知症の専門家も同席します。ぜひご参加ください。

【今後の開催予定】

7/6、8/3、9/7、
10/5、11/2、12/7
◎時間：14：00～
◎参加費：無料
◎茶菓子代：100円

ペガサス地域包括
ケアセンター

「なんでも相談」窓口あります
場所：馬場記念病院 総合案内横
時間：平日9時30分～12時まで
健康のことから在宅介護まで。
多様なニーズに対応する「なんでも
相談」窓口を設置しています。
まずはお気軽にご相談ください。
お問い合わせ／TEL:072-265-5558
(担当 平岩)

ペガサスグループ 株式会社ユニコ

夏場の脱水予防に水分補給ゼリーや
OS-1も販売配達しております。
お問い合わせ／TEL：0120-062-505

堺市
紙おむつ
給付券
OK!



私たちと一緒に働きましょう。

随時受付
しています

介護職員募集中! 正職員採用

いつでもご連絡いただければ、ペガサスグループの施設見学などへご案内します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

障がい者の方、一緒に働きませんか

※障がい者手帳をお持ちの方。正職員への雇用変更もあり
業務は、A)書類の印刷、製本 B)洗濯 C)清掃
D)データ入力 E)資料作成等。

お問い合わせ／馬場記念病院 人事課 TEL：072-265-9089



社会医療法人ペガサス公式 Facebook ページ
<https://www.facebook.com/s.m.c.pegasus>

7月 ペガサスセミナー

乳癌の検診と
治療法について

講師：馬場記念病院
外科医師 木下 春人
日時：7月25日 (火) 午後2時～3時
場所：馬場記念病院 1階ロビー

6月 ペルセウス介護
支援セミナーレッツ エクササイズ
～運動によって健康な生活を～

講師：理学療法士 浜 公彦
日時：6月30日 (金) 午後2時30分～
場所：介護療養型老人保健施設
ペルセウス 3階食堂

8月 ペガサスセミナー
和泉

内容未定

講師：薬剤部
日時：8月24日 (木) 午後2時～3時
場所：介護療養型老人保健施設エクス

7月 ロイヤルリゾート
健康相談会

7月開催プログラム

内容：夏祭り (予定)
日時：7月26日 (水) 午前11時～
場所：ペガサスロイヤルリゾート

PEGASUS
NEWS

ペガサスニュース

発行人／馬場武彦
発行／社会医療法人ペガサス
大阪府堺市西区浜寺船尾町東4-244
<http://www.pegasasu.or.jp/>
編集／ペガサス広報委員会 編集グループ
編集協力／HIPコーポレーション
発行／平成29年6月23日

Vol. 76

ペガサスから地域の皆さまへ

ペガサスが「健康おおさか21推進府民会議会長賞 (優秀賞)」を受賞しました。

医療機関である強みを活かし、
職員の健康保持・増進に取り組んでいます。

社会医療法人ペガサスは、「第2回大阪府健康づくりアワード」の職場部門において、「健康おおさか21推進府民会議会長賞 (優秀賞)」を受賞しました。

大阪府と健康おおさか21推進府民会議が主催するこの賞は、自主的、主体的な健康づくり活動の奨励・普及を図るために、地域や職場で積極的な活動を行っている団体を表彰するものです。

当法人では、医療機関である強みを活かし、職員やその家族の健康保持・増進へのさまざまな取り組みを行っています。職員自身が健康への意識を高めることで、皆さまへのよりよいサービス提供ができるよう、努めていきたいと考えています。



【取り組みの一例】

- 先輩職員が新規入職者を精神的に支える「ペガサスマンター制度」
- 心理専門職がカウンセリングやフォローを行う「臨床心理士によるメンタルヘルスケア」
- 職員や家族の健康増進やコミュニケーションの促進を目的とした「ペガサス大運動会」の開催…など

地域医療のこれからを担う、新たな仲間を迎えました。



平成29年4月3日～5日の3日間、ペガサスでは89名の
新入職員を迎え、入職式、新
入職員研修を開催しました。

入職式では、理事長・馬
場武彦から激励の言葉を受
け、真剣なまなざしで医療人としての決意を固めました。また、数々の研修では、医療従事者として備えておくべき基礎



知識や、ペガサスの職員としてあ
るべき姿などを学びました。

なかでも、2日目のグループ
ワークでは、今年度から、ユニ
フォームを着用し、病棟をはじめ
とするさまざまな部署を、体験・
見学する時間を設けました。新入職者は、患者さまの車椅子の介助、機能回復訓練のサポート、検査部門の見学など、患者さまのために多職種が携わっていることを、改めて実感することができました。相談役を担う先輩メンターも参加してのグループワークでは、体験を踏まえた活発な意見交換が行われました。医師や看護師をはじめ、異なる職種でも共通の思いはく地域の皆さまの健康を、あらゆる面から支えること。それぞれの気づきを話し合ったことは、お互いにとって新鮮な体験となりました。

ペガサスでは、新しく加わった仲間とともに、今まで以上に地域医療に貢献していきたいと考えています。



40歳以上になったら、 2年に1回はがん検診を。

監修
乳腺専門医
柏木 伸一郎

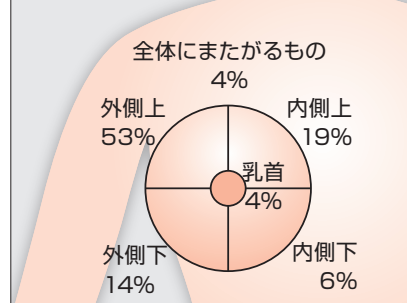


女性の12人に1人が乳がん。

乳がんは、乳房にできる悪性腫瘍です。多くは、母乳を運ぶ乳管から発生します。乳房全体を見ると、約半数が乳房の＜外側上方＞にできやすいことがわかっています。放置すると、がん細胞が乳腺の外側まで広がり、やがては肺や肝臓など、乳房から離れた臓器にまで及びます。

日本では、女性の12人に1人が、乳がんとなる時代。30歳代から増えはじめ、40歳代後半～50歳代前半でピークを迎えます。

◆乳がんのできやすいところ



出典：東北大学病院データ（2011-2014年）

●セルフチェックではここに注意

- ☐ 乳房のしこり
- ☐ 乳房のひきつれ（乳房のえくぼ）
- ☐ 乳首のただれ
- ☐ 乳首からの異常な分泌液
（血液が混じった分泌液）
- ☐ わきの下のぐりぐり（リンパ節の腫れ）

精度が高い診断を迅速に。

乳がんは早めに発見し、適切な治療を受けることで、良好な経過が期待できます。

馬場記念病院併設のペガサス健診センターでは、マンモグラフィーや超音波検査を用いた、精度の高い診断が可能です。スピーディーな診断・治療のために、平日と土曜日の午前中になん検診を行うほか、月に1回程度、日曜日の検診も受け付けています。

当院の乳腺外科では、平成28年4月から乳腺専門外科を開始。精密検査や再検査が必要な方、気になる自覚症状がある方などを対象とした、乳腺専門医による診察を行っています。

乳がんと診断された場合、患者さまの状態や生活に応じて、手術、放射線治療、化学療法を組み合わせた治療が必要となります。担当医による相談はもとより、臨床心理士による心のケアも実施し、患者さまの不安を和らげるよう心がけています。

最善の画像情報は 的確な診断に繋がる。

最先端技術に精通した MR検査の専門家。

進化を遂げるMR検査。最善の画像情報を得るには、機器の性能を十分に理解し、撮像原理や解剖をはじめ医学知識も備えてこそ、検査目的や医師の要求に応えることができます。

そうしたMR検査に精通し、診療放射線技師への教育・指導をも実践できる専門資格として、日本磁気共鳴

専門技術者認定機構が認定する＜磁気共鳴（MR）専門技術者＞があります。本資格認定者は全国でもまだ少数ですが、その一人が馬場記念病院に在籍しています。加藤武志診療放射線技師。彼は、X線CT認定技師をはじめ、複数の専門資格を合わせ持つベテランの診療放射線技師です。

「私自身、検査装置の性能を最大限に発揮し、短時間で情報量の多い画像作成をめざして、常に技術や知識の向上に努めています。臨床放射線部全体に対しては、異常所見が

あった際には、緊急度に応じて直ちに主治医と連携が取れるような、読影技術の高度化に力を注いでいます。

医療機器の進歩には目を見張るものがあり、心臓ペースメーカーをはじめ、条件付きでMR検査が可能な医療機器が販売されています。各機器により撮像条件が異なるので、検査を安全に行うには、添付文書に記されている正確な情報を得ることも大切です」（加藤）



加藤 武志
診療放射線技師

1

馬場記念病院 初期臨床研修医の紹介

4月から4人の研修医が学んでいます。

生長弥須蔵

先輩方がいきいきと診療に携わっている姿を見て、臨床での力をつけることができると思いました。常に患者さまを第一に考え、困っている点や不安にしっかりと耳を傾け、心と体の両面を支えられるような医師になりたいです。



島田裕希

外科的な処置など、段階を経て多くのことを経験させてもらえます。早くから、医師としての自覚と責任を感じられる研修ができると思えました。地域の皆さまに頼りにされ、幸せにできる医師をめざしています。



平塚 剛

当院には、専門的な診療科が揃っており、初期研修で学ぶべき症例が充分にあります。どんな状況でも常に向上心を持ち、最大限の努力をすること。また、患者さまに寄り添った医療を提供できることが理想です。



吉田智弘

外科で名高く、地域の人を大切にしている当院で、技術力を高めながら、患者さまとの接し方を学びたいと思います。もし自分自身が主治医であればどうするかを考え、ふさわしい振る舞いができるように心掛けたいです。



3

社会福祉法人風の馬 特別養護老人ホーム「アリオン」

移乗サポートロボット〈Hug〉を 新しく導入しました。

特別養護老人ホーム「アリオン」に、介護ロボットを導入しました。高齢者の方の移乗動作をサポートするロ



ボットの 名前は〈Hug（ハグ）〉。さまざまな理由により、足を使う機会が少なくなっている方が、ご

2

ペガサスグループ 第5回 南大阪リハビリテーション・ケア学会

より質の高いリハビリテーションやケアを、 多職種の視点で考えています。

平成29年3月18日、馬場記念病院で「第5回 南大阪リハビリテーション・ケア学会」が開催されました。

本学会では、今回より学会名に＜ケア＞を打ち



出しています。その理由は、リハビリテーションには、セラピストの指導による機能回復・維持訓練に加え、入院生活や在宅での生活に寄り添う看護師、介護のケアが不可欠だから。さらに広げると、医療福祉相談員、臨床心理士、栄養士など、多職種の視点があってこそ、病気や怪我によって後遺症や障がいを持たれた方の、社会復帰を可能としていきます。そうした意味合いを＜ケア＞の言葉に込め、学会としての姿勢をより明確にしました。

研究発表は57演題。最優秀賞には医療法人清和会 水前寺とうや病院 理学療法士の渡辺将大さんが選ばれました。また、招待講演には、福岡県の医療法人羅寿久会 浅木病院会長の三好正堂先生、日本理学療法士協会 理事の森本 榮先生をお招きし、貴重なお話を伺うことが



できました。
南大阪でリハビリテーションに関わる全職種の、さらなるレベルアップをめざし、地域の皆さまの生活向上への貢献に努めていきます。



自身の脚力を活かしながら、最小限の介助で移乗することができるようサポートします。

職員も心強いサポーターに興味津々。説明・実演会で自ら試乗し、使い心地を体感しました。

車椅子からお手洗い、ベッドから車椅子、脱衣場での立位保持など、活躍の場はたくさん。ご入居者の生活がより良くなるように、活用していきます。

診療所の先生へ

「摂食・嚥下」のご相談をお受けします。

高齢になると、特別な病気が無くても、摂食・嚥下機能が低下してきます。そうした患者さまがいらっしゃる場合は、馬場記念病院にいつでもご相談ください。日本摂食嚥下リハビリテーション学会の認定士が、丁寧にご対応いたします。